

学術フォーラムの概要について（事後報告）

- 1 名称：学術フォーラム「SDGsの達成に資するESDカリキュラムの開発」
- 2 日本学術会議以外の共同主催団体等：
後援：Future Earth 国際事務局日本ハブ、地理学連携機構、日本ESD学会、
（一社）日本環境教育学会、ESD活動支援センター、NPO法人ESD-J、
（公財）ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）、
（公財）笹川平和財団海洋政策研究所、人間文化研究機構総合地球環境学研究所
- 3 開催日時：令和5年8月20日（日）13:00～17:00
- 4 開催場所：日本学術会議講堂（オンライン併用）
- 5 開催趣旨：
国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取組が広がり、小中高の教科書でも多く取り上げられています。これを成功させるには、多くの国際持続性研究プログラムを束ねるフューチャー・アースとの連携とともに、幅広い環境教育で実績のあるESD（持続可能な開発のための教育）の推進が重要です。そのようなSDGsに資するESDカリキュラムの開発について、研究者や教員の報告を参考に皆で考えましょう。中高生、大学生、一般の皆様も是非ご参加ください。
- 6 参加人数：
講演者等：23名
その他の参加者：108名（オンライン：60名、現地：48名）
- 7 特記事項：
 - ・本フォーラムの成果は、持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会およびESD、フューチャーアース、IYBSSD、SDGsに関する委員会等の審議活動に反映されます。
 - ・本フォーラムでの議論は、『学術の動向』に特集企画として掲載の予定です。
 - ・高校生、大学生、初任教員にユースコメンテーターとして参加していただき、ディスカッションにも加わっていただいたところ、大変好評でした。
 - ・主会場の講堂の前のロビーで小中高生の作品を含むポスターの展示・説明を行ったところ、来場者の交流の輪が広がり、こちらも大変盛況でした。
 - ・多くの参加者がプログラム最後のディスカッションに参加しており、またアンケート回答率が高く、概ね好評価だったように思われます。